

◎A 部門

	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	代表者
1	県大 PR 団体 学生 生広報チーム	山口県立大学の主に学生の自主的な活動の情報を外部へそして県大生へ向けて、映像・写真・紙等の媒体を利用して情報発信する。大学の HP や学生広報チームの HP 等に情報を掲載し、大学の宣伝と共に学生の自主的な活動の更なる発展の助力となる。	文化創造学科 4 年 納富 愛
2	One Bite of Fair Trade with YPU TFT Project	現在「地球市民」という言葉をよく耳にする が、これは貧困等の地球規模の問題解決に向 け、地球に住む一員として、日常生活の中で 自分にできる身近なことを実践していく人 のことを指す。この言葉をよく耳にするよう になり、日本でも、発展途上国の支援をする 市民活動は近年急速に成長している。しかし ながら、ここ山口県を含む「地方」では、国 際問題に対する人々の認識さえあまり高く ない。そこで、フェアトレードや TFT とい った国際問題の改善ツールを活用し、地域の 人々や学生に啓蒙活動を行う。「食べる」とい う、日本人であれば誰にとっても当たり前で ある行為が普遍的ではないことを、フェアト レードや TFT を通して理解する。また、日 常生活の中に「国際支援」を簡単に取り入れ ることができる気づいてもらう。そして、 人々の国際問題に対する関心を高め、賛同者 を増やし活動の拡大をはかる。	国際文化学科 2 年 高橋 知里
3	県立大学発、地域 活性化アイドル ユニット結成プ ロジェクト	近年、全国各地で「アイドルユニット」が結 成され、チャリティーイベントや観光 PR 等 に活躍し、地域の活性化に大いに貢献してい ます。そこで、県立大学発のユニットを自主 的に結成し、地域と大学とを繋ぐ架け橋にな りたいと考えています。具体的には①福祉施 設でのイベント出演等を通し、地域に元気を 届けたい、②宮野の名所や県立大学内でプロ	文化創造学科 1 年 柴田 麻世

	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	代表者
		<p>モーショントビデオを制作し、宮野や県立大学のPRに役立ちたい、と考えています。</p>	
4	<p>けんだいカラー ーYPU 世界人ニ ューサー</p>	<p>日本人学生やアジア・欧米からの留学生のそれぞれの視点から捉えた日本と世界の文化を県大生新聞の形で地域に発信することによって、地域の方々（高校生含む）及び県大生自身の異文化理解を促進することと元気いっぱい活発な県大生の特徴「けんだいカラー」をアピールすること。</p>	<p>国際文化学科 3年 王 芹</p>
5	<p>～大学生が町に やってきた！～ 「おいでませ 紙芝居へ」企画</p>	<p>①山口の昔話を題材にした紙芝居をオリジナルで作成し、地域文化の魅力を再認識したい。 ②地域の子どもたちを対象に紙芝居を実演することで、地域文化について認識を深め、山口に関してさらなる興味と愛着を持ってもらいたい。 ③上の紙芝居を数種作成し、山口県立大学キャンパスをはじめ、宮野駅などの地域交流センター、さらに可能であれば一の坂川周辺でも紙芝居を実演し、大学と地域の子どもたちとを繋ぐイベントとしたい。</p>	<p>文化創造学科 1年 山本 麻祐子</p>
6	<p>YPU SWEETS PROJECT</p>	<p>栄養学科の強みである臨床栄養学分野の知識や経験を活かして、血糖コントロールを必要とする糖尿病患者さん向けの、1個80kcalでボリューム感があり、満足感を得ることのできるお菓子を開発する。実際に、山口県小児糖尿病患者 山口会のキャンプをはじめとする糖尿病患者会や、すこやかライフセミナー等での提供を行う。昨年度、コープやまぐちでの試食販売で地域の方からいただいた意見も参考に、山口県立大学のアピールにもつながるようなお菓子を開発する。</p>	<p>栄養学科 4年 松浦 瞳</p>

◎B 部門

	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	代表者
1	キャンパス内「憩いの小径」を作る う計画	<p>大学内の使われていないベンチやテーブルを再生したり、設備を新たに作ったりして、大学内の豊かな緑を生かした憩いの広場にする。</p> <p>作った憩いの広場をつなげ一本の小径にし、学生だけでなく地域のかたにも使ってもらえる交流の場にする。</p>	<p>文化創造学科 1年 伊藤 彩香</p>